

産業技術総合研究所 自己評価検証委員会
計量標準総合センター分科会 議事要旨

1. 日時：令和3年3月19日（金） 13：00～16：00

2. 場所：Web 会議による開催

3. 議事概要

(1) 領域の概要とマネジメント

計量標準総合センター 総合センター長 白田 孝

- 資料に基づき、領域のマネジメントについて説明が行われた。

(2) 社会課題の解決に向けて全所的に取り組む研究開発

○持続可能な安全・安心社会のための革新的インフラ健全性診断技術および長寿命化技術の開発

サステナブルインフラ研究ラボ 研究ラボ長 津田 浩

- 資料に基づき、研究領域より詳細説明が行われた。その後、AI 化による効率化や新規材料の劣化・寿命予測などについて質疑応答を行った。

(3) 経済成長・産業競争力の強化に向けて各領域で重点的に取り組む研究開発

○ものづくりおよびサービスの高度化を支える計測技術の開発

物理計測標準研究部門 研究部門長 島田 洋蔵

○バイオ・メディカル・アグリ産業の高度化を支える計測技術の開発

物理計測標準研究部門 研究部門長 島田 洋蔵

○先端計測・評価技術の開発

分析計測標準研究部門 研究部門長 石井 順太郎

- 資料に基づき、研究領域より詳細説明が行われた。その後、高周波プロービング技術、IoT 型放射線線量計などについて質疑応答を行った。

(3 課題まとめたの質疑応答)

(4) イノベーション・エコシステムを支える基盤整備

○水素の効率的利用を実現する計量システムの標準化

工学計測標準研究部門 研究部門長 大田 明博

○計量標準の開発・整備・供給と活用促進

計量標準普及センター センター長 小島 時彦

○計測技術を活用した適合性評価基盤の構築

物質計測標準研究部門 研究部門長 権太 聡

- 資料に基づき、研究領域より詳細説明が行われた。その後、光格子時計、国際標準化戦略などについて質疑応答を行った。
(3 課題まとめでの質疑応答)

(5) 全体質疑

- 全体の質疑応答を行った。

(6) 委員討議

- 委員による討議が行われた。

(7) 主査からの講評

- 主査から講評が行われた。予算配分に関わらず計量標準の普遍性を大切にすること、産総研主導による国際標準化への期待や、社会実装に向けた取り組みの重要性について言及があった。

4. 分科会委員 (敬称略、委員五十音順)

金澤 秀子	慶應義塾大学 大学院薬学研究科 教授 (分科会主査)
神田 玲子	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所 放射線防護情報統合センター センター長
高橋 哲	東京大学 先端科学技術研究センター 教授
柳内 克昭	TDK 株式会社 品質保証本部半導体解析センター センター長